

『看護師による個別相談』を実施しました

1月17日(木)に、鳥取県東部不妊専門相談センターの橋本万住子看護師にお越しいただき、カラダの悩みを気軽に相談できる「看護師による個別相談」を実施しました。

これは、生理痛、生理不順による体調不良（過呼吸や貧血など）を訴え、保健管理センターを受診したり、男女共同参画推進室内休養室に来室する学生が増えている一方で、学生にとって病院（産婦人科）は行きづらく、我慢していることが多いと思われます。

また、「不妊症」という言葉がよく聞かれるようになったものの、なぜ妊娠しにくいのかその原因と対策について正しい知識を持たない学生が多い等の現状を踏まえて、専門家による個別相談を通じて女子学生の心とからだの悩みを解決するとともに、ライフプランニングに資する情報提供を行うことを目的として実施したものです。

相談は昼食時間をはさみ、午前11時から午後3時までの予定でしたが、午前11時には最初の来室者があり、一人あたり30分～40分の相談時間で、最後の相談は午後3時10分に終了しました。

橋本万住子看護師は、「生理痛は病気の一つなので、我慢しないで相談に来て欲しい」と話されていました。



男女共同参画推進室内 休養・相談室